

学科名	プロフェッショナルデザイン科											
分類	必修	○	選択		学年	4	年	学期	前期	○	後期	
授業科目名									総単位時間数			
服飾造形論Ⅱ(ソーイング、ドレーピング、PM)									121			
担当教員	本田 茂貴/野尾 まち子				科目区分	講義		演習		実習	100%	
授業目的	・素材の特性を理解し、素材に合ったデザイン、パターン製作～縫製仕様まで幅広く理解し応用出来るようになる。											
	・個別カリキュラムを通して主体性・協調性・多様性・独創性を身につける。											
到達目標	・素材、デザイン、ターゲットに合った、パターン作成、展開から縫製まで出来るようになる。											
	・マイブランドにおいて、Plan(計画)→Do(実行)→Check(評価)→Act(改善)が出来る様になる											
授業内容(授業展開)												
時期	コマ数	授業内容										
4月	24	PD4の共通課題 ★企画作品製作(3作品) 条件:扱ったことのない素材もしくは、手法を採り入れる。 ・デザイン画のバランス通りにシルエット表現できる ・素材の特性に合わせたドレーピングが出来る ・仕様・工程が考えられたパターンメイキングが出来る ・素材に合わせた裁断・縫製方法がとれる ★ブランドデザインのパターンメイキング (最低3コーディネート) 各アイテムのパターン作成、 各自のデザインに応じてテクニック&テキスタイル実験と 様々な縫製テクニックの研究 トワール組み立て・確認・修正 パターン修正とトワールの再組み立て・確認 完成パターン→工業用パターンへ 縫製仕様書作成、工程分析作成 裁断→縫製 *各自縫製スケジュール表に基づき進めていく										
5月	28	PD4の各自課題 ★各自、就職活動を視野に入れて目的、目標を立てて課題に取り組む。 ・スケジュールを立てて計画的に取り組めるようになる。(各自課題は調整)										
6月	32	*卒業企画作品4年次最低6体作成 (S/S及びA/Wは各自目的に応じて決める)										
7月	20											
9月	17											
留意事項												
教材、資料等		・必要に応じて適宜用意										
評価方法 対象・比重		・評価テスト50%・提出物50% *試験、課題製作物とも優(90点以上)(GP 4点)、良°(89～80)(GP 3点)、良(79～70)、 (GP 2点)可(69～60)(GP 1点)、不可(59点以下)の判定とする。										

学科名		プロフェッショナルデザイン科											
分類	必修	○	選択		学年	4	年	学期	前期		後期	○	
授業科目名									総単位時間数				
服飾造形論Ⅱ(ソーイング、ドレーピング、PM)									136				
担当教員	本田 茂貴/(野尾 まち子)				科目区分	講義		演習		実習	100%		
実務経験者の授業科目			○	経験内容	経験年数:13年 業務内容:レディースアパレルメーカー(東京コレクション参加ブランド)〜婦人服アパレルメーカーにてデザイナー、パタンナーアシスタント〜パタンナー及び生産管理業務に従事。平成17年〜通常業務に加え、海外工場の指導、生産管理担当者に就任。								
授業との関連性			アパレル企業での実務経験で培ってきた衣服制作における実用性の高い知識と技術を指導するとともに学生独自の世界観を引き出し、クリエイティブな作品制作を指導。										
授業目的	・素材の特性を理解し、素材に合ったデザイン、パターン製作〜縫製仕様まで幅広く理解し応用出来るようになる。												
	・個別カリキュラムを通して主体性・協調性・多様性・独創性を身につける。												
到達目標	・素材、デザイン、ターゲットに合った、パターン作成、展開から縫製まで出来るようになる。												
	・マイブランドにおいて、Plan(計画)→ Do(実行)→ Check(評価)→ Act(改善)が出来る様になる												
授業内容(授業展開)													
時期	コマ数	授業内容											
10月	31	ブランドデザインのパターンメイキング(最低3コーディネート) 各アイテムのパターン作成、 各自のデザインに応じてテクニック&テキスタイル実験と様々な縫製テクニックの研究 トワール組み立て・確認・修正 パターン修正とトワールの再組み立て・確認 完成パターン→工業用パターンへ 縫製仕様書作成、工程分析作成											
11月	32	裁断→縫製 *各自縫製スケジュール表に基づき進めていく											
12月	24												
1月	27												
2月	22	*卒業企画発表											
3月	0												
留意事項													
教材、資料等		・必要に応じて適宜用意											
評価方法 対象・比重		・評価テスト50%・提出物50% *試験、課題製作物とも優(90点以上)(GP 4点)、良°(89〜80)(GP 3点)、良(79〜70)、(GP 2点)可(69〜60)(GP 1点)、不可(59点以下)の判定とする。											

学科名		プロフェッショナルデザイン科										
分類	必修	○	選択	○	学年	4	年	学期	前期	○	後期	
授業科目名									総単位時間数			
パターンメイキングⅢ									92			
担当教員	本田 茂貴				科目区分	講義		演習		実習	100%	
授業目的	・パターン研究を通して、デザイン画を読み取る力、ドレーピング技術、平面展開の応用技術を修得する。											
	・個別カリキュラムを通して主体性・協調性・多様性・独創性を身につける。											
到達目標	・コレクションブランド等の難易度の高いデザインを、ファーストパターン作成～トワル～修正～完成パターン作成までできるようになる。またデザイン、素材にあった縫製仕様作成及び縫製が出来るようになる											
授業内容(授業展開)												
時期	コマ数	授業内容										
4月	17	各自目的に合わせて研究テーマ設定 (最低3アイテム) 各アイテムのパターン作成(ドレーピング及び面製図) トワル組み立て・確認・修正 パターン修正とトワルの再組み立て・確認・トワル両身組み上げ 完成パターン										
5月	19	トワル写真撮影(トワル両身組み上げ) 縫製→作品完成 レポート提出 *各自スケジュール表に基づき進めていく 毎週月曜日に各自進捗状況を報告→チェック→ブラッシュアップ										
6月	28	*前期テスト										
7月	15											
9月	13											
留意事項												
教材、資料等		・必要に応じて適宜用意										
評価方法 対象・比重		・評価テスト50%・提出物50% *試験、課題製作物とも優(90点以上)(GP 4点)、良°(89～80)(GP 3点)、良(79～70)、(GP 2点)可(69～60)(GP 1点)、不可(59点以下)の判定とする。										

学科名	プロフェッショナルデザイン科											
分類	必修	○	選択	○	学年	4	年	学期	前期		後期	○
授業科目名									総単位時間数			
パターンメイキングⅢ									84			
担当教員	本田 茂貴				科目区分	講義		演習		実習	100%	
授業目的	・毛芯ジャケット、リバーシブル仕立てや手芸技術を多用した作品を通して、素材、デザインに合ったパターンメイキング及び縫製仕様、縫製技術を理解する。											
	・アパレルCADの基本的な操作を身に付ける。											
到達目標	・クチュール的な仕立てを学び、素材、デザインに合ったパターンメイキング、縫製仕様、縫製技術を修得する。											
授業内容(授業展開)												
時期	コマ数	授業内容										
10月	24	トワール組み立て・確認・修正 パターン修正とトワールの再組み立て・確認、縫製仕様書作成 完成パターン→工業用パターンへ 工程分析作成										
11月	24	裁断→縫製 *各自縫製スケジュール表に基づき進めていく *ジャケットパターンをCADに取り込み基本的な操作を身に付ける。										
12月	18	パターン取り込み→修正→展開→裏パターン作成→工業用パターン作成										
1月	12	*後期テスト										
2月	6											
3月												
留意事項												
教材、資料等		・必要に応じて適宜用意										
評価方法 対象・比重		・評価テスト50%・提出物50% *試験、課題製作物とも優(90点以上)(GP 4点)、良°(89～80)(GP 3点)、良(79～70)、(GP 2点)可(69～60)(GP 1点)、不可(59点以下)の判定とする。										

学科名	プロフェッショナルデザイン科4年、ファッション流通ビジネス科2年、ブライダル科2年										
分類	必修	○	選択		学年	2、4	年	学期	前期	○	後期
授業科目名 一般教養									授業時間数 15		
担当教員	徳永隆裕				科目区分	講義	80%	演習	20%	実習	
授業目的	社会及び企業で要求される一般常識及びヒューマンスキルを身につけ、併せて就職試験で求められる一般教養試験へ対応できるようにする。										
到達目標	仕事をして行く上での最低限のコミュニケーション(口頭表現、文章表現)が出来る力を身に付け、就職試験で課される一般教養試験(国、数、英、社、時事等)で60%以上の得点が取得できるレベル。										
授業内容(授業展開)											
時期	コマ数	授業内容									
4月	1	○企業研究確認 随時履歴書・面接等チェック									
4月	1	○SPAについて ○コミュニケーション及び自己表現能力の開発 ・面接・グループディスカッション演習									
5月～9月	11	・時事学習、研究 国内外の問題について 政治、経済、社会、歴史等について									
9月	2	・期末テスト ・振り返り									
留意事項											
教材、資料等		講義により指導及び各種メディア掲載情報を参考									
評価方法 対象・比重		*試験、課題製作物とも優(90点以上)(GP 4点)、良°(89～80)(GP 3点)、良(79～70)、(GP 2点)可(69～60)(GP 1点)、不可(59点以下)の判定とする。									

学科名	プロフェッショナルデザイン科											
分類	必修	○	選択		学年	4	年	学期	前期	○	後期	
授業科目名									総単位時間数			
企画									42			
担当教員	原賀/本田/野尾				科目区分	講義	10%	演習		実習	90%	
授業目的	各自の方向性に応じたカリキュラムに基づき、ターゲットとコンセプトに合った、なおかつ過去と今を踏まえた未来を予測した企画力とプレゼンテーション力を修得する。											
到達目標	就活に必要な企画書やポートフォリオの作成と、説得力のあるプレゼンテーションができる。											
授業内容(授業展開)												
時期	回数	授業内容										
4月	7	*トレンド分析 A/W コレクション分析 《AWトレンド分析》・カテゴリーごとの分析とマップ作成 ・デザインの潮流の分析 シルエット・色・柄・素材・ディテール・アイテムなど分析。										
5月	10	*A/Wトレンド分析、注目トレンドの発表(授業内) ★コレクションS/S予測 ・S/Sデザインテーマ・マテリアル、色、ディテール (バリエーション最低3体展開)										
6月	12	*6月上旬S/S企画チェック										
7月	5	企画書作成(スタイリング案3体及びアイテム、素材展開) *7月上旬タイリング案3体及びアイテム、素材展開チェック										
9月	8	AW仕様書、工程分析を含む企画書の作成 ④作成アイテム(3体～4体)のレポート提出(実物写真添付)最終提出 ⑤ブランド企画振り返りレポート 前期テスト・企画発表										
留意事項												
教材、資料等		コレクション雑誌、織研新聞等										
評価方法 対象・比重		・評価テスト70%・提出物15%・取組姿勢15% *試験、課題製作物とも優(90点以上)(GP 4点)、良°(89～80)(GP 3点)、良(79～70)、 (GP 2点)可(69～60)(GP 1点)、不可(59点以下)の判定とする。										

学科名	プロフェッショナルデザイン科											
分類	必修	○	選択		学年	4	年	学期	前期		後期	○
授業科目名									総単位時間数			
企画									57			
担当教員	本田茂貴/野尾まち子				科目区分	講義		演習		実習	100%	
授業目的	各自の方向性に応じたカリキュラムに基づき、ターゲットとコンセプトに合った、なおかつ過去と今を踏まえた未来を予測した企画力とプレゼンテーション力を修得する。											
到達目標	就活に必要な企画書やポートフォリオの作成と、説得力のあるプレゼンテーションができる。											
授業内容(授業展開)												
時期	回数	授業内容										
10月	10	《オリジナルブランド企画 SS》 仕様書、工程分析を含む企画書の作成 ①アイテム構成提出(9アイテムにおける構成表を2か月/毎,計3枚) ②アイテム展開提出(①でのアイテム構成に基づく型数、カラー展開も含む)										
11月	14	仕様書、工程分析を含む企画書の作成 上記①②修正含め最終提出 トレンド分析(SS)										
12月	14	仕様書、工程分析を含む企画書の作成 ③作成アイテム(3体～4体)の仕様書作成 トレンドマップ作成(SS) マーケット検証(AW)										
1月	8	仕様書、工程分析を含む企画書の作成 ④作成アイテム(3体～4体)のレポート提出(実物写真添付) トレンド検証(SS) トレンド予測(AW)										
2月	11	仕様書、工程分析を含む企画書の作成 ④作成アイテム(最低3体～4体)のレポート提出(実物写真添付)最終提出 ⑤ブランド企画振り返りレポート 後期テスト・企画発表										
留意事項												
教材、資料等		コレクション雑誌、織研新聞等										
評価方法 対象・比重		・評価テスト70%・提出物15%・取組姿勢15% *試験、課題製作物とも優(90点以上)(GP 4点)、良°(89～80)(GP 3点)、良(79～70)、(GP 2点)可(69～60)(GP 1点)、不可(59点以下)の判定とする。										

学科名	プロフェッショナルデザイン科											
分類	必修	○	選択		学年	4	年	学期	前期	○	後期	
授業科目名									総単位時間数			
アパレル企画Ⅱ									92			
担当教員	原賀/本田/野尾				科目区分	講義		7	50%	実習	50%	
授業目的	自身のブランドターゲットとコンセプトを見つめなおし、時代を捉えたテーマ設定をし、企画書のさらなるレベルアップを目指す。お店に並ぶことを見据えた品揃え展開と時期など、販売に繋がることを意識した計画を立てる。											
到達目標	自分の品揃えがブランドコンセプトとシーズンテーマに合っているか、時代に求められるものであるかなど客観的に見直しながら、問題点、修正点を自ら気づける力を身に付ける。											
授業内容(授業展開)												
時期	回数	授業内容										
4月	17	各自、就活に合わせた目的と目標設定(A4) スケジュール立案 各自別途調整 各自進捗状況を報告→チェック→ブラッシュアップ										
5月	19	スケジュール立案 各自別途調整 各自進捗状況を報告→チェック→ブラッシュアップ										
6月	28	スケジュール立案 各自別途調整 各自進捗状況を報告→チェック→ブラッシュアップ										
7月	15	スケジュール立案 各自別途調整 各自進捗状況を報告→チェック→ブラッシュアップ										
9月	13	スケジュール立案 各自別途調整 各自進捗状況を報告→チェック→ブラッシュアップ 前期テスト										
留意事項												
教材、資料等		コレクション雑誌 等										
評価方法 対象・比重		・評価テスト70%・提出物15%・取組姿勢15% *試験、課題製作物とも優(90点以上)(GP 4点)、良°(89～80)(GP 3点)、良(79～70)、(GP 2点)可(69～60)(GP 1点)、不可(59点以下)の判定とする。										

学科名	プロフェッショナルデザイン科											
分類	必修	○	選択		学年	4	年	学期	前期		後期	○
授業科目名									総単位時間数			
アパレル企画Ⅱ									84			
担当教員	本田茂貴/野尾まち子				科目区分	講義		演習		実習	100%	
授業目的	各自の方向性に応じたカリキュラムに基づき、ターゲットとコンセプトに合った、なおかつ過去と今を踏まえた未来を予測した企画力とプレゼンテーション力を修得する。											
到達目標	就活に必要な企画書やポートフォリオの作成と、説得力のあるプレゼンテーションができる。											
授業内容(授業展開)												
時期	回数	授業内容										
10月	24	各自、将来の進路に合わせて目的と目標設定 スケジュール立案 各自別途調整 各自進捗状況を報告→チェック→ブラッシュアップ										
11月	24	スケジュール立案 各自進捗状況を報告→チェック→ブラッシュアップ										
12月	18	スケジュール立案 各自進捗状況を報告→チェック→ブラッシュアップ										
1月	12	スケジュール立案 各自進捗状況を報告→チェック→ブラッシュアップ										
2月	6	スケジュール立案 各自進捗状況を報告→チェック→ブラッシュアップ ＊ポートフォリオ、企画書提出(卒業企画時公開) プレゼンテーション										
留意事項												
教材、資料等		コレクション雑誌、織研新聞等										
評価方法 対象・比重		・評価テスト50％・提出物50％ ＊試験、課題製作物とも優(90点以上)(GP 4点)、良°(89～80)(GP 3点)、良(79～70)、(GP 2点)可(69～60)(GP 1点)、不可(59点以下)の判定とする。										